

学園の今を伝える立正大学学園新聞

RISSHO UNIVERSITY NEWS

2 理事長・学長より 新年のご挨拶
5 輝く人 僧侶を目指す“四刀琉”

9 夏期海外研修プログラム 引率職員の気づき
12 日本の伝統文化に触れる裏千家茶道部の活動紹介

Vol. 157
Winter 2024

2023ミス立正・ミスター立正が決定!



 **立正大学**
「モラリスト×エキスパート」を育む。

品川キャンパス 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 / Tel.03-3492-5250
熊谷キャンパス 〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉1700 / Tel.048-536-6010

Website

学園新聞Web版はこちらから

立正大学マガジン



謹賀新年

理事長・学長より 新年のご挨拶

歴史と伝統を守りつつ、みなさんとともに未来へ

新年明けましておめでとうございます。みなさんも健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

このお正月の「松の内」の松とは、常緑樹でいつも一年中きれいな緑の色を保ち、強い根を這わせ新しい芽を出す、そして枯れて落ちて松の葉は2つ一緒ということで松はめでたく縁起がよいと言われていいます。立正大学学園も本年は開校152年を迎えますが、1580年開設の飯高檀林から数えると444年になります。444年間にわたり立正大学学園は建学の精神を守り、松と同じように変わらずに今日まで歴史と伝統を伝えています。

本年は長期構想である「立正グランドデザイン」のもと、第2次中期計画の2年目に当たります。「新LMS*の導入と利活用の推進」・「学生の多様性に応じた支援」・「特色ある研究のための支援強化」・「中期的な入試戦略と策定(附属中学校・高等学校)」の4つを本年度の重点施策として、さらなる教育研究の充実に取り組んでまいります。

文部科学省も「2030年の社会と子供たちの未来」において「教育課程を介して社会や世界との接点を持つことが、これからの時代においてより一層重要となる」としています。しかしながら世界ではロシアによるウクライナ侵攻、さらにはイスラエル・パレスチナ紛争でも多くの市民が巻き添えになり、互いの子どもたちの生きる未来が閉ざされています。私たちも世界に目を向けつつ建学の精神である「真実」・「正義」・「平和」のもと、全ての人々の生命を尊重して、一人一人が安心して暮らせる平和を願って実践していかなくてはなりません。

立正大学学園は152年という歴史と伝統を守りつつ、これからも大きな河の流れのように一時として留まることなく未来に向かって進んでまいります。その行く先々でいろいろな出会いがあり、いろいろな物語を作り全てのものが変化していくという大きな真理のもとで、これからも立正大学学園は学生さんや教職員のみなさんと一緒に歴史と伝統を刻んでまいります。

本年がみなさんにとってよい年になりますようご祈念申し上げて年頭のご挨拶といたします。



学校法人立正大学学園
理事長 望月 兼雄

2023年11月4・5日に大学祭を開催しました！

今年も橘花祭と星霜祭が開かれ、両キャンパスとも大勢の入場者でにぎわいました。

第58回 橘花祭(品川キャンパス)



橘花祭の門にて



吹奏楽部のパレード企画

第14回モラリス賞 表彰式



第14回モラリス賞の表彰式が2023年11月4日、品川キャンパス(橘花祭学生広場野外ステージ)にて行われました。2023年度は、法学部の山口・行政学ゼミおよび早川・政治学ゼミの有志10名が受賞されました。

受賞者	活動内容・受賞理由
品川区長盛り上げ隊 (代表: 牧野晃大さん 法学部4年)	当団体は、2022年に行われた品川区長選挙に際し、公益団体法人東京青年会議所品川区委員会が行う公開討論会に協力するために設置されたもので、公開討論会の実施に際し、投票マッチング設問の作成や政策比較表の作成、当日の運営を行い、その活動が多数のメディアに取り上げられたことから今回の受賞となりました。

第36回 星霜祭(熊谷キャンパス)



実行委員のみなさん



屋台の様子

教育の充実を図るための「立正グランドデザイン」を本格始動

新年あけましておめでとうございます。

在学生、教職員、卒業生をはじめ、日頃立正大学をご支援くださるみなさまも、健やかに新たな年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

本年は、旧制大学としての立正大学が大正13年(1924)に開設されてより100周年を迎えます。旧制大学には研究科および学部と予科があり、学部は5学科よりなる文学部のみの単科大学でした。これにより従前の日蓮宗大学は専門部(夜間)となり、3学科制となりました。ちなみに、新制大学となったのは25年後、石橋湛山先生が学長に就任されたのは、さらにその8年後のことです。

本年はまた、一番新しく令和3年(2021)に開設されたデータサイエンス学部にも4学年がそろい、9学部の体制が完成を迎えます。先年迎えた開校150周年に続いての、節目ともいえるべき年です。

こうした中で、品川・熊谷両キャンパスともに一層の充実を図るため、長期構想「立正グランドデザイン」に基づき昨年からのスタートした第2次中期計画を着実に進めていきます。この計画は多岐にわたりますが、課題であった新LMS*なども、本格的に稼働を開始します。建学の精神として掲げる「真実」・「正義」・「和平」は、立正大学に集う私たちが共に探求し、共に実現していくものです。なお一層のご理解とご支援をお願いいたします。

本年がみなさまによりよき年でありますよう心からご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

* LMS: Learning Management Systemの略で、日本語では学習管理システムと呼ばれる。



立正大学
学長 寺尾 英智

2023ミス立正・ミスター立正が決定！

11月4日、石橋湛山記念講堂にてミス・ミスターコンテストが開催されました。

エントリーNo.2の八木まゆかさん、エントリーNo.1の黒崎大夢さんがグランプリに輝きました。



浦山 愛菜さん 八木 まゆかさん 森 千夏さん 小林 桃歌さん 黒崎 大夢さん 川西 隼也さん 黒澤 航貴さん 宇根 誠之助さん

コンテスト当日は、自己PRタイムのほか、テーマに沿った私服披露も実施。SNSのいいね・リポスト数、当日までのWeb投票に加え、現地で行われた当日投票により、グランプリは八木さん・黒崎さんに決定し、準グランプリには森千夏さん(経営学部2年)、川西隼也さん(経済学部3年)が輝きました。

グランプリ受賞者インタビュー



ミス立正

八木 まゆかさん

心理学部 4年

私1人の力で優勝したんじゃない。応援してくれた方々が私をグランプリにしてくれたんだと心から思います。応援してくれた方々、企画・運営してくれたミスコン担当のみなさん、本当にありがとうございました！



ミスター立正

黒崎 大夢さん

社会福祉学部 4年

今回はありがたいことに、グランプリをいただくことができました。でもそれは僕1人だけの力ではなく、友達みんなのおかげが大きかったと思います。応援してくれたみんな本当にありがとうございました！





奥富ゼミ・ゼミ生



おく とも よう いち
奥富 庸一 教授

所属：社会福祉学部
子ども教育福祉学科
研究分野：幼児体育、
保育内容領域健康、
健康行動科学

Profile

筑波大学大学院の体育科学研究科博士課程を単位取得後、倉敷市立短期大学の准教授として勤める。2017年に本学の社会福祉学部に着任し、様々な課外活動で母親の不安解消と保育における子ども達の環境改善に励む。

趣味/ドラマ観賞
『きのう何食べた?』『ワカコ酒』『こむぎの満腹記』など。日系系のほっこりするジャンルが好きです。

休日の過ごし方/料理
ドラマを見てると作りたくなってしまい『きのう何食べた?』の「おかずクラブ」を作りました。

スポーツ/ビーチバレー
コロナ禍前までビーチバレーをしていました。日焼けしていてあの頃は少しやんちゃな感じでした。

様々な経験を積んで学生一人ひとりの保育観を見つけてほしい

Q1 奥富先生はどんな研究をされているんですか?

子どもの気質特徴を踏まえた、親子でできるふれあい遊びを研究テーマにしています。ふれあい遊びとは、子どもの体を持ち上げる「たかいたかい」や大人の足を障害物に見立ててジャンプする「跳び越しまわり」など、どこの家庭でも行われているような手軽にできる遊びです。バランス感覚や逆さ感覚、ジャンプ力などの運動機能や運動感覚を育てるきっかけにもなります。

親子ふれあい遊びの行事をしていると、はじめから「たかいたかい」のような遊びができる子もいれば、場の雰囲気になれずできない子もいます。慣れにくさの強い子には「ひくいひくい」をするなど、それぞれの子どもの気質特徴に合わせたふれあい遊びをすることができればみんな楽しんでできるかなとプログラムや指導法の探究をしています。

Q2 その研究を始めようと思ったきっかけは?

大学では体育の教員を目指していました。体育と言っても運動するだけではなく、ストレスとどうやって向き合っていくか考えるストレスマネジメントを扱う健康行動科学という分野を専攻しました。私はその中で、研究対象を子育て中の母親に焦点を当てて子育ての不安をどうやって解消できるか、軽減できるかを研究していました。その研究の軸には「子どもたちの環境をよくしたい」という思いがありました。子どもたちがよりよく育つ環境には、様々な要素があり、なかなか一つに絞ることはできませんし、検証するには数年経ってからでないと分からないものもあります。そこで、まずは母親に焦点を当てて、母親のストレスを解消することで、少しでも子どもがのびのびと育つための環境がよくなればと研究を続けています。

Q3 学生にはどのような保育観を培ってほしいですか?

保育観というのは人によって違うものです。ゼミ生には保育園や幼稚園で働きたいと思う学生が少なくありません。様々な経験を積んでもらい自分がいいと思う保育観をぜひ見つけてもらいたいと思います。そのため「ハグくま広場」の開催や実際に園に訪問する課外活動などに参加してもらい、いろいろな保育の仕方を学んでもらいたいと思っています。

「ハグくま広場」は、子育て支援センターヘアリスと共催で、熊谷キャンパス近隣に住む乳幼児とその保護者を対象としたイベントです。ゼミの学生が主体となって、サーキットコースやパラバルーン遊び、水風船づくりなど遊べる広場を作っています。学生には、子どもとふれあう中で、様々なことを吸収してもらえたらと思います。そして、自分が将来就職する時にどんな園を選べばいいかの指標になればいいと思っています。



ハグくま広場の様子

立正大学学園の学園新聞に広告を掲載しませんか?

発行部数
10万部

広告サイズ	掲載料金
4色/横252mm×縦95mm	220,000円
4色/横126mm×縦95mm	110,000円

お申し込みの際は、URL、もしくは二次元バーコードから、掲載までの流れと、広告掲載におけるガイドラインをご確認の上、お申し込みください。

立正大学学園新聞は年3回発行している学園情報誌です。学内のトピックスや同窓生の活躍などを掲載しています。卒業生、在校生と保護者、関連学校へ郵送でお届けし、キャンパス内でも配布しています。

〈お問い合わせ・お申し込みはこちら〉

立正大学広報課 新聞編集係

<https://www.ris.ac.jp/magazine/ad.php>



メールのタイトルを「立正大学学園新聞 広告掲載申込み」としてご連絡ください。



みんなのゼミ自慢

AIとプログラミングを通じた実践的な研究を学修する場

うえ はら ひろし
上原 宏 先生
(データサイエンス学部データサイエンス学科)



はたの うみ
記事: 波多野 羽美さん
(データサイエンス学部データサイエンス学科3年)
高等学校卒業程度認定試験



上原ゼミ・ゼミ生

上原宏ゼミは、AI・機械学習を中心に、プログラミングを使用しながら研究する工学分野のゼミです。主に「料理」、「時系列」、「画像」、「AIによる社会的インパクト」のチームにわかれ、口コミサイトや他の情報源からデータを取得し、それぞれ必要な分析方法を用い、結果に基づいて考察を行うなど、上原先生にアドバイスをいただきながら実践的な学修を進めています。

例えば、「画像」分野では、旅行記サイトからトピックを決め、旅行記の文章や画像の傾向などを分析します。形態素

解析を用いて単語を抽出し、類似性に基づいてグループ分けをするクラスタリング*を行い、1つのトピックの中でも共通性、関連性のある旅行記を同じクラスにまとめます。また、画像についても画像データの解析、クラスタリングを行うことで画像ごとの類似性を調べることができます。これにより、関連した旅行記や写真の傾向を明らかにし、各ユーザーがトピックに対してどのような関心を持っているのかなどを推測することができます。

1期のゼミでは自分の興味のある分野のチームにわかれてテーマを決め、週次の進捗発表を行いながら研究を進めます。進捗発表では、疑問に思った点をすぐに質問したり、アイデアを交換したり、プログラミングコードを共有しあったりと、互いにスキルを磨きあうことができます。2期のゼミでは自分のスキルに合わせ、各自で研究を進めることが多くなり、それまで講義で学んだことの応用にも触れていきます。上原先生から視野を広げるためのアドバイスや課題を受けながら、研究内容の深掘りとスキルの向上を目指しています。

上原宏ゼミには学修意欲の高い学生が多く、2023年9

月には学会でレシサイトビッグデータの解析結果についての発表を行ったゼミ生もいます。

2021年度にデータサイエンス学部が新設されたので、私たちの代が一期生です。学部の先輩がいないので手探りの部分もありますが、その分悩みながらも自分の興味のある内容に積極的に取り組み、知識と技術を磨くことができる探究心を刺激される楽しいゼミです。

*データセットを特定のルールに基づいていくつかのグループ(クラス)に分類すること。



活動の様子

キラリモラリスト×エキスパート 輝く人

うね せいの すけ
宇根 誠之助さん
仏教学部(1年)



四刀流で“明日世界が終わっても後悔しない人生を!”

「大学で授業を受けたり、バイト、部活動に声優の学校。4歳から続けているチェロの練習…。時間がどれだけあっても足りません!」と話すのは、本学仏教学部に通う1年生の宇根誠之助さん。僧侶になるための勉強に日々励みながら、声優・卓球・チェロと“四刀流”を実践しています。今回は、その活動についてお話を聞きました。

—立正大学に進学した理由を教えてください

仏教について隔々まで学び、僧侶になるための免許を取得するためです。実家が広島県福山市にある日蓮宗の妙政寺というお寺なのですが、住職を務める父と少年の離れた兄の背中を見て、自分もこの仕事に就くのだと、小学4年生の頃から思っていました。現在も、毎日欠かさずお経を読んでいます。

—“四刀流”について詳しくお聞かせください

学業以外に、声優の学校に通ったり、大学で所属している卓球部の練習や、4歳の頃から続けているチェロの練習をしています。一日の中で全て均等にこなしていくことは大変で、最初はうまく調整ができず、体調を崩すこともありました。隙間時間を活用したり朝起きる時間を早くしたりして、上手く調整できるようになりました。

—宇根さんが大切にしていることはありますか

限られた時間の中で精一杯頑張ることです。“もし明日世界が終わっても後悔しない人生なのか?”を常に考えながら、何事にも全力で取り組んでいます!

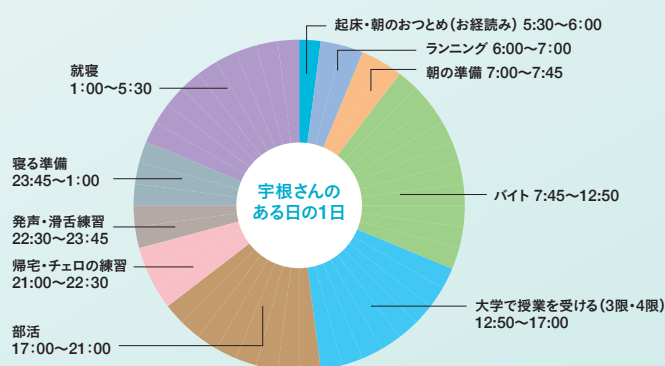
—最後に将来の夢を教えてください

まずは、立派な僧侶になりたいです。そのうえで、今、業界で問題視されている「廃寺」を復興して、少しでも多くのお寺を後世へ引き継いでいきたいです。その活動に、僕が今取り組んでいる、声優やチェロ、卓球などの経験を生かしていけたらいいなと思っています。

将来の夢について目を輝かせながら話してくれました。



チェロの練習をする宇根さん



学部あれこれ

立正大学各学部から届いたレポートです！

法学部

日本犯罪社会学会第50回記念大会が開催されました

法学部教員の丸山泰弘教授、相澤育郎講師が役員(理事)を務めている日本犯罪社会学会が、2023年10月14日と15日に、立正大学品川キャンパス11号館と13号館で開催されました。同学会は1974年に設立され、犯罪や非行などの問題を研究対象とする学会です。今回は第50回の記念大会で、同学会の立正大学での開催はこれが初めてとなります。これに合わせて、アメリカ犯罪学会会長のシャッド・マルーナ教授も来日し、1151教室で特別講演も開催されました。

初日夜の懇親会では、開催校代表として早川誠法学部長が挨拶し、大会開催をお祝いするとともに、今後立正大学を「犯罪社会学の東の拠点の一つ」として覚えていただきたい、と述べました。また、犯罪社会学の役員には、以前法学部に所属し、現在データサイ

エンス学部で活躍する原田豊教授も名前を連ねています。

開校150周年の機会に定められた立正大学第2次中期計画(2023年～2027年)のアクションプランでは、教育の質向上の一環として、多様な進路を視野に入れた課外講座の再編と充実を図るとしています。その中で、犯罪社会学分野と関連して、「法学部と心理学部の学際領域である家庭裁判所調査官補や法務教官、法学部と社会福祉学部および心理学部との学際領域である福祉専門職職員(例えば東京都職員1類B(福祉職))採用を目指して、課外講座や学部ゼミ等で対策を実施する」と定められています。

法学部は今後も、立正大学の資格教育の柱となる学部として、他の学部との連携・協力関係を強化しな

がら、最新の研究と教育を学生のみなさんに届けていきたいと考えています。



学会記念講演で質問に答えるアメリカ犯罪学会会長のシャッド・マルーナ教授

心理学部

「認知症の予防と健康を保つ生活習慣」をテーマに公開講座を開催

品川区と心理学部の共催で、2023年10月28日に立正大学品川キャンパス1152教室において公開講座が開催されました。精神科専門医、精神保健指定医、公認心理師、臨床心理士でもある幸田のみ子心理学部教授が本講座の講師を担当しました。この講座は、「認知症の予防と健康を保つ生活習慣」と題して行われ、認知症の症状や種類とその特徴、診断方法について概説し、認知症と間違われやすい、可逆性認知症について解説したものです。

当日は、認知症の前段階の時期から取り組むとよいと言われている生活習慣や活動について、実際に運動エクササイズも実演し、楽しみながら脳を活性化させる日々の活動の大切さについて学びました。認知症やフレイル(加齢や疾患によって身体的・精神的な

様々な機能が徐々に衰え、心身のストレスに脆弱になった状態)の予防と、年齢を重ねても健康を保っていくための生活習慣について考える良い機会を提供する有意義な場となり、72名の受講者も、運動エクササイズを交えながら講演を楽しんでいるようでした。

日本は平均寿命、健康寿命ともに世界一であり、国民の約3割を高齢者が占める超高齢社会です。全国の100歳以上の高齢者人口は9万人を超え、今や人生100年時代を迎えています。平均寿命と健康寿命の間には10歳の差があるため、いきいきと楽しく生きられる健康寿命を延ばすことが重要で、要介護状態にならないための対策をたてる必要があります。運動習慣を身につけ知的好奇心を刺激することによって、認知症の危険因子を減らすこと

ができることを幸田教授が熱く語られ、盛況のうちに幕を閉じました。



認知症の予防と健康を保つ生活習慣について語られる幸田のみ子教授

データサイエンス学部

公的統計マイクロデータを用いた研究が可能なオンサイト施設の開設

データサイエンス学部では、インターネット上のビッグデータやアンケート調査のデータ、気象データやスポーツに関する計測データなど、様々なデータを用いた教育や研究が行われています。このようなデータの活用可能性を広げる取り組みとして、「公的統計マイクロデータ」の利用を可能とする「オンサイト施設」が、熊谷キャンパスに設置され、2023年から運用を開始しています。

公的統計マイクロデータは、国の行政機関が実施した様々な統計調査(国勢調査、経済センサスなど)の結果について、その集計を行う前の、世帯単位や事業所単位などの、個票形式・レコード単位のデータです。公的統計マイクロデータを用いることにより、集計した結果からは得られない、世帯や企業などの複雑な構造が明らかとなり、より自由で多様な分析を行うことが可能となるため、新たな発見につながる事が期待されます。

公的統計マイクロデータは、企業や個人の情報を含む機密性の高いデータであり、統計法によってその秘密の保護が図られています。オンサイト施設とは、情報セキュリティが十分に確保された環境の下で、国の行政機関の許可を受けた研究者等が、公的統計マイクロデータを用いて独自の集計や分析を行うことができる専用の施設です。データサイエンス学部では、学内の関係部署や、総務省との間で、必要な連携・協力・調整を行い、熊谷キャンパスのアカデミックキューブ5階に、このオンサイト施設を開設し、公的統計マイクロデータを用いた分析・研究を実施することのできる環境を整備してきました。

近年、国内外で、EBPM(Evidence Based Policy Making: 証拠に基づく政策立案)に関連する様々な研究の蓄積が進んでおり、オンサイト施設における公的統計マイクロデータの活用は、こうしたEBPM関連の研究に

資するものと期待されます。立正大学のオンサイト施設については今後、データサイエンス学部内での運用を経て、利活用に関する課題を整理した上で、大学内で広く利用していただくための周知や説明などを行っていくことを検討しています。



オンサイト室入口

【オンサイト施設 利用可能施設一覧】

(国)東北大学	(国)新潟大学	(国)群馬大学
(私)立正大学	大学別開校数 統計学専攻	(国)一橋大学
(私)多摩大学	独立行政法人統計センター	(国)東京大学
(私)慶応義塾大学	(国)金沢大学	(国)名古屋大学
(国)滋賀大学	(国)京都大学	(国)大阪大学
(国)神戸大学	統計データ活用センター	(国)岡山大学
(国)香川大学	(国)広島大学	(私)長崎総合科学大学
(国):国立大学 (私):私立大学		



RISSHO JUNIOR&SENIOR HIGH SCHOOL

立正大学附属立正中学校・高等学校

第76回 立正祭盛大に開催される

2023年9月30日～10月1日の2日間、4年ぶりに入場制限のない立正祭が開催されました。中学生は演劇の発表、高校生は各クラスのアトラクションを中心に、また中夜祭や各部の演技なども賑やかに行われ、大勢のお客様とともに盛り上がっていました。



空手道部の演技



チアリーディング部の演技

水戸市長旗 第13回東日本少年軟式野球大会 優勝

立正中学校野球部が初出場で初優勝を飾る快挙を達成しました。

各県の代表チームと戦い抜き、2022年秋の東京都大会優勝に続き、みごと優勝の栄冠を獲得いたしました。

一回戦	○立正大立正 16-1 × 酒田市立第三中学校クラブ(山形県)
二回戦	○立正大立正 4-0 × 尾張旭市立旭中学校(愛知県)
三回戦	○立正大立正 6-2 × 内灘町立内灘中学校(石川県)
準決勝	○立正大立正 4-2 × 泉中野球クラブ(岐阜県)
決勝	○立正大立正 12-4 × 群馬FIVE STARS(群馬県)

【メンバー】

3年生	中道 清貴	横川 幸多	稲葉 大地
	遠藤 涼央	角田 陸斗	有我 碧
2年生	原田 賢芯	上野 僚太	光安 優清
1年生	多田 出雲	高瀬 剣	藤原 志優
	中山 颯	武井 琥珀	前田 凜治
	菊地 泰叶	川口 心海友	横川 美央



初出場で初優勝を飾った立正中学校野球部

先生の素顔

たかやま りょうへい
高山 凌平先生(保健体育科)



母校の立正中高を卒業し、国士舘大学体育学部に進学。10年間サッカー部に所属し、特に大学では厳しい練習に耐え抜き、仲間と切磋琢磨して多くの大会で活躍しました。

大学卒業後、立正の体育科教諭として着任し4年目を迎えました。現在は中学1年生の担任、そしてサッカー部の顧問として元気な生徒たちと毎日楽しい生活を送っています。

両親が教員をしており、幼いころから両親の後ろ姿を見て育ったため、教員を志望したのも自然な成り行きだったと思います。大学では教育に関わるボランティア活動も多く経験しました。なかでも特別支援学級の生徒たちのサポートや支援を行ったりした経験は、現在の自分の糧になっています。

趣味は旅行で、日本全国(全県)を周ることが目標です。まだ半分くらいしか達成していないので、部活動や大会のない休みを利用して旅を楽しもうと思っています。

今担当しているクラスはとても素直で明るい生徒たちが多く、のびのびとしていて、これからの成長がとても楽しみです。生徒たちには、何事にも一生懸命取り組んで挑戦する気持ちを忘れないでほしいことと、失敗を恐れず、その経験を成功につなげられる人間に成長してほしいと願っています。



RISSHO UNIVERSITY SHONAN HIGH SCHOOL

立正大学 淞南高等学校

11年ぶり3回目の甲子園出場!!

11年ぶり3回目の甲子園出場を目指した島根県大会。エースの日野君を中心とした「守り勝つ」野球で頂点までたどり着きました。

初戦(江津・浜田水産)を大量得点のワールドゲームで勝利し、続く3回戦(石見智翠館)と準々決勝(開星)では、県内の強豪私学として知られる相手に、終盤の粘り強さで勝ち抜き、前評判では厳しいとされた山を乗り越えることができました。準決勝(松江西)では、投打がうまく噛み合い、初戦に続くワールドゲームでの勝利。迎えた決勝戦では、2022年夏の敗戦の雪辱を果たし、3回目の甲子園出場を決めました。

園出場を決めました。

2023年8月11日、甲子園では優勝候補の広陵高校と対戦しました。序盤適時打で先制点を取り、中盤まで粘り強く戦いましたが、相手の強力打線につかまり初戦敗退となりました。

島根県大会から全国高等学校野球選手権大会まで、選手たちは4年ぶりの声出し応援やプラスバンドの大演奏にたくさんのエネルギーをもらいました。多くの方々から応援してもらい、「ありがとう」と伝えられた大会となりました。



甲子園の様子

新任教員紹介

やました まさし
山下 真史先生



社会科 野球部コーチ
立正大学淞南高校卒業
→立正大学卒業
→株式会社ニチダイ(社会人野球6年)
→立正大学淞南高校教員として戻る

私は、2013年に本校を卒業し、2023年度より、社会科教員として本校に着任しました。私が生徒の時から変わらない、明るい挨拶や学校行事などに、懐かしさ、うれしさを感じています。

高校卒業後は、立正大学、社会人と硬式野球を続けていましたが、プレーヤーから退いた時、それまでの野球経験を生かして母校(本校)で生徒と一緒に甲子園を目指そうと考えました。

私は、エースでの甲子園出場を目指して本校に入学し、最後の夏に、その夢を果たすことができました。何万人もの観客、超満員のアルプススタンドから声援を受けて投げるマウンドは、言葉では言い表せないものでした。

2023年の甲子園初戦では、優勝候補である広陵高校との試合でしたが、臆することなく堂々とプレーする生徒たちはたくましかったです。自分自身がプレーしていた頃の記憶、甲子園独特の雰囲気を感じ、改めて甲子園はよい場所であると感じました。

教員、指導者という立場は初めてでまだこれからですが、私も生徒たちと一緒に学校生活や部活動に一生懸命取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。

01 「FOR THE KIDS 2023」 クエスト ～未知なる学びへの挑戦 in 立正大学～

2023年11月5日、品川キャンパスにて小学生向けイベントを開催しました。本イベントは【リーダー養成特別プログラム】の一環として行われたもので、6月から学生がワークショップを通じてプロジェクトマネジメントを学修し、小学生向けの企画を考えながら、理想のリーダー像を見つけるプログラムです。学生たちはチーム編成を行い、以下の小学生向けワークショップを行いました。

No.	大項目	タイトル
①	経済	お金について考えよう
②	歴史	マナビィ・ジョーウズ～歴史への旅～
③	恋愛	恋愛クイズ大会♡目指せ！恋愛心理マスター♡
④	心理	左右非対称は親しみやすさ？あの人魅力的な理由

当日は品川区内の小学生35名が来場し、イベントが終わるごとに会場の雰囲気はどんどん賑やかになりました。表にある4つのワークショップ終了後、小学生たちは本学のマスコットキャラクターである「モラリス」から修了証を受け取り、クエストクリアとなりました！保護者からは「学生のみなさんが楽しそうで、とても親切だった」「勉強することの意味や知ることの楽しさ、学ぶ本質を教えていただいた」などうれしいコメントをいただきました。学生たちも本プロジェクトを通して、プロジェクトマネジメントの重要性やチームでイベントを成功させるためのノウハウを学ぶことができたと感じています。



恋愛講義の様子



挑戦してクリアした参加者たち

02 受講者数延べ2万人超え！ 大学の講義を各地で開催 「立正大学デリバリーカレッジ」

近年、「生涯学習」としてより豊かな人生を送るための学びの場に参加する方々が、多くなっています。そのような方々に学習機会を提供する「立正大学デリバリーカレッジ」。

「立正大学デリバリーカレッジ」では、本学の持つ知的財産を地域のみなさまへお届けすることを目的とし、2008年から自治体と協働して、本学の教員、名誉教授を派遣して講座を開催しています。

これまで実施した講座の数は500以上あり、受講者数は延べ2万人を超える歴史のある取り組みです。コロナ禍にはやむを得ず中止となりましたが、その後、感染防止対策を徹底した上での規模を縮小した実施を経て、2023年度も計11都市での講座開催を実施する運びとなりました。すでに開催された都市の受講生からは、好評をいただいております。

2023年10月12日には、郡山市立中央公民館にて、文学部浅岡隆裕教授による「地域のちょっと前の出来事が物語になるまで」というテーマの講座を実施しました。実際にデリバリーカレッジに参加された受講生からは、「自分が今住んでいる街の資料館を訪ねて街のことをもっと知ってみようと思うきっかけとなった。」などの声が寄せられ、とても有意義な時間となりました。

今後も、開催地の展開や幅広い年齢層に向けた講座の開講に取り組んでまいります。



郡山市で開催されたデリバリーカレッジの様子

教職教育センター

社会教育主事／社会教育士養成課程の紹介

教職教育センターでは、教職課程のほかに社会教育主事／社会教育士養成課程を開設しています。

文部科学省は、2つの資格名称の違いを、次のように説明しています。

社会教育主事は、都道府県・市町村教育委員会から「社会教育主事」として発令されなければ、その職務に就くことができません。そのため、これまでもNPOや社会教育関係団体、企業、学校教職員、PTAなどの方々が講習や養成課程を受講し、さまざまな場で活躍していましたが、「社会教育主事」とは名乗ることができませんでした。そこで、講習や養成課程における学習成果がさらに広く社会における教育活動に生かされるよう、定められた科目を修了した者は「社会教育士」と称することができるようになりました。

社会教育士の制度は2020年度から始まり、上記の趣旨に則ったカリキュラムの改正が行われました。「生涯学習支援論」と「社会教育経営論」の2科目が新設され、「社会教育実習」が必修化されました。

立正大学では、従来から演習科目のなかで社会教育の現場と教室との往還を意図した授業を行ってきましたが、「社会教育実習」を独立の科目として新設したことにより、これまで以上に多様な現場との出会いが可能となっています。

- 学校教育に限らず、ひろく教育の仕事に関心がある
- 小さな頃に経験したスポーツや地域活動を応援してみたい
- 会社であれNPOであれ、どんな組織にも「学び」が必要だ
- 実習をきっかけに、新しい世界との出会いに挑戦したい…

立正大学では、すべての学部・学科の学生および研究科・専攻の大学院生が社会教育の課程を履修することができます。

また、社会教育主事任用資格のみを取得して卒業されたみなさんも、新2科目の修得によって「社会教育士」の称号が得られます。

この記事を読んだら少しでも関心を持たれたら、社会教育を学んでみませんか？



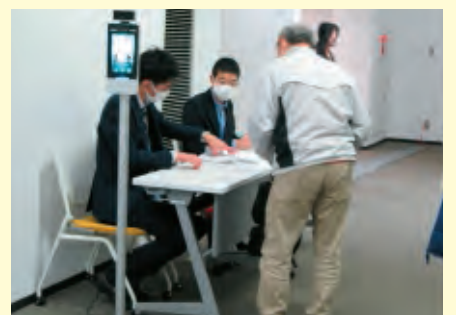
プレーパークで水あそび



図書館での読み聞かせ



夏休み講座のサポート



公開講座の受付業務



ニュージーランド・オタゴ大学 豊かな自然に囲まれた学生の街・ ダニーデンで学ぶ交換留学と語学研修 ～引率職員から見た海外体験のすすめ～

2023年夏期休暇期間中に実施した海外研修プログラムには、計26名の学生が参加しました。プログラムの1つである語学研修では、15名の学生が8月中旬から約1ヵ月間、ニュージーランドで最も歴史のあるオタゴ大学で英語を集中的に学びました。

今回の語学研修には国際交流センターの職員2名が現地まで引率しました。学生の引率をとおして得た気づきについて、ご紹介します。

はじめに渡航についてです。日本を出発すると、機内や空港では基本的に英語を使います。特に、海外が初めての学生は、客室乗務員や空港スタッフとの簡単な英会話フレーズを覚えておくとう便利です。また、現地空港到着時の入国審査では、質問内容を事前に調べて、回答を想定しておくことで、トラブルなくスムーズに通過できると感じました。

次にプログラムについてです。授業開始前のオリエ



オタゴ大学・クロックタワービルディング



We did it! 5週間のプログラムを修了しました!

ンテーションでは、オタゴ大学のあるダニーデン市内ツアー、キャンパスツアーが行われ、市内やオタゴ大学内の散策、施設の利用方法等を確認しました。初めてダニーデンを訪問する学生向けに丁寧に説明がされており、学生も安心した様子でした。また、授業が行われたランゲージセンターをはじめ、オタゴ大学は施設が充実しており、スポーツジムが併設されていました。フィットネスやトレーニングマシンなど、学生は無料で利用可能です。授業時間外の気分転換やスポーツをとおした現地学生との交流の場として利用する学生が多くおり、学んだ英語を実践できる機会となりました。

夏期語学研修の他に、本センターの中長期留学制度を利用してオタゴ大学に交換留学をしている学生に、現地でインタビューをしました。交換留学は、現地大学の学生と共に専門科目を履修する制度です。学

生にインタビューをしてみると、留学を通して「心理の仕事に就く」という目標が明確になり、現地での生活の中で様々な経験を積んでいることが分かりました。短期間にもかかわらず、多くの経験が本人の自信に繋がっており、学生の著しい成長を感じることができました。

乗り継ぎ先でスーツケースが壊れたり、慣れない環境で体調を崩したりと、ハプニングもありましたが、様々な困難を乗り越えて、大きく成長した学生の姿を見られるのは、職員として大変うれしいことです。

国際交流センターでは毎年、海外短期研修、中長期留学の募集をしています。海外に興味があり、経験を積みたい、成長したい学生はぜひ挑戦してください!



ホストファミリーとのファーストミーティング

史料編纂室だより

立正大学と関東大震災

1923(大正12)年9月1日に発生した関東大震災は、相模湾付近を震源とした巨大地震で、2023年はそれから100年目に当たります。この震災で約30万棟の家屋が失われ、10万人を超える方々が犠牲になったといわれています。

本学(当時、日蓮宗大学)では、悲しいことに罹災した学生が86名、亡くなった学生が1名おりましたが、校舎の被害はありませんでした。この悲劇の中で、本学は重要な役割を果たします。震災直後の9月末には、「社会問題研究会」の委員たちが本学の所在地である大崎町(当時)の有志から3,000個もの慰問品を集めました。星製薬株式会社の好意により借りた自動車を使い、特に被災状況が悪かった本所菊川町、柳原町、徳右衛門町などで配給をしたといえます。また、「大学コードモ会」(写真1)は「罹災児童慰安巡回お伽團」を組織し、土日などに子どもたちに対して「慰安お伽会」を開催しました(以上『大崎学報』第65号より)。このように本学の学生たちは、被災された人々に必要とされる支援を提供したのです。こうした献身的な行動は、本学の社会貢献への姿勢を象徴するものといえるでしょう。

震災から翌年の1924(大正13)年4月1日に、本学は大学令によ

り立正大学(旧制)としての設立が認可され、当時画期的といわれたせんごくまつたろう 隈石政太郎氏設計の鉄筋コンクリートの校舎を擁し(写真2)、文学部(宗教学科、哲学科、社会学科、史学科、文学科)、予科、研究科を有する大学として歩み始めることとなります。

立正大学はこれからの時代においても、関東大震災での経験があるように、社会に貢献するためみんなで力を合わせ、前進していくことでしょう。



(写真1)
震災について記した
大学コードモ会の日誌



(写真2) 竣工当時の旧1号館

サッカー部

勝ち点が1点届かず、おしくも1部復帰を逃したが シーズンを通しては好調の結果に



リーグ戦終了時集合写真

2023年4月に開幕した関東大学サッカーリーグ戦が、11月18日リーグ戦第22節(最終節)亜細亜大学戦をもって幕を閉じました。最終戦に勝利し、他会場の結果次第では目標の『関東1部復帰』の可能性が残る、最後まで緊張感のある戦いでした。試合は2-1で勝利しましたが、勝ち点が1点足らず、2部残留となりました。

しかしながら、シーズンを通して選手たちは努力し、成果としては、夏の全国大会である総理大臣杯出場やJリーガー4名を送り出すなどがありました。

さらに、セカンドチームの大会であるインディペンデンスリーグ

【関東】では3位となり、初の全国大会出場を果たしました。全国大会では本来の力を発揮することができず、初戦で敗退となり、全国ベスト8で大会を終えました。

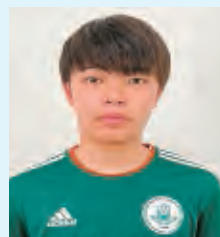
インディペンデンスリーグでは、年間を通して多く1年生が試合に出場することができました。貴重な公式戦を経験し、下級生が大きく成長した大会でもありました。

2023年度シーズンも多くのご支援を賜りましたこと御礼申し上げます。2024年シーズンも変わらぬご声援のほどをよろしくお願いいたします。

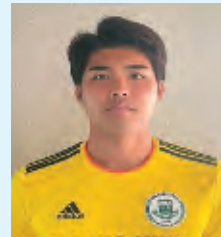
Jリーグ内定者

- GK 杉本 光希 (地球環境科学部4年) ジュビロ磐田(J1)
- MF 西田 結平 (地球環境科学部4年) ガイナーレ鳥取(J3)
- MF 青島 太一 (地球環境科学部4年) 栃木SC(J2)
- FW 榊原 杏太 (地球環境科学部4年) 名古屋グランパス(J1)

リーグ戦ベスト11に2名選出



FW 榊原 杏太 4年
(名古屋グランパス内定)



GK 杉本 光希 4年
(ジュビロ磐田内定)

JR東日本カップ2023 第97回関東大学サッカーリーグ戦2部 順位表

順位	大学	勝点
1	駒澤大学	47
2	関東学院大学	39
3	山梨学院大学	39
4	立正大学	38
5	早稲田大学	37
6	日本体育大学	35
7	立教大学	33
8	産業能率大学	31
9	順天堂大学	28
10	青山学院大学	22
11	作新学院大学	15
12	亜細亜大学	4

硬式野球部

厳しい状況下でも諦めない気持ちでチームを成長させた 2024年は新体制で「2部優勝、1部復帰」を目指す



三井佑真(内野手:法学部4年)

2023年のリーグ戦では今までに経験したことがないほど、厳しい戦いが続きました。思うように打線が繋がらず、一点も取れずに負けてしまう試合が続きました。そのような苦しい状況の中、誰一人として諦めることなく、熱い気持ちをもってだからこそ最終カードの連勝に繋がったと思います。

特に印象的だったのは、試合を重ねていくごとに成長している実感をもたえたということです。結束力が強固になるほどチームが強くなるということを、指導者から言われ続けてきましたが、よう

やく体現していくことができました。

2022年の奈良間大己選手(現日本ハムファイターズ)のようなプロ志望を出すスター選手はいませんが、社会人でも続けたいという意思を示す選手が多く、約半数が社会人になっても野球を続けていく予定です。進路においても社会人野球チームが減り、野球を続けたくても続けられない選手もいるような状況の中で、約半数の選手が硬式野球継続ということは、今まで選手たちが本気で野球に取り組んできた結果であると思います。

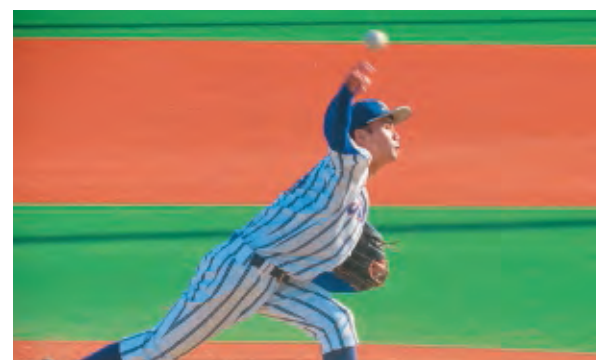
2023年秋季リーグ戦で4年生は引退となり、新チームが始動します。これから結果を残していくような選手層である、飯山志夢(データサイエンス学部3年)を筆頭に、レギュラーメンバーも多く残ります。投手陣も2戦目の先発を任された秋本璃空(データサイエンス学部2年)に加え、抑えとして大車輪の活躍をした榎村佳歩(データサイエンス学部2年)と、厚みがあります。2024年入部してくる新入生も加え、2023年達成することのできなかった「2部優勝、1部復帰」を目指します。2023年春には東洋大学が駒澤大学を破り1部昇格、大正大学が東京農業大学を破り2部へ参戦するなど入れ替え

も激しく、日本で一番厳しいリーグといっても過言ではないリーグで勝っていかなければいけない厳しい状況の中ですが、攻守ともに目標達成に向けてより精進してまいります。

2023年もたくさんのご支援、ご声援ありがとうございました。

令和5年度 東都大学野球秋季リーグ2部 結果

順位	駒澤大	専修大	国士大	拓殖大	立正大	大正大	勝ち点
1	駒澤大	-	○	○	○	○	5
2	専修大	●	-	○	○	○	3
3	国士大	●	○	-	○	○	3
4	拓殖大	●	○	○	-	○	2
5	立正大	●	●	○	-	○	2
6	大正大	●	●	●	○	-	0



関口航太(投手:法学部4年)

ラグビー情報

ラグビー部男子

1部残留に向けて最善を尽くす

チーム一丸となり、1部残留を目指す

関東大学リーグ戦の結果は、2勝5敗7位という結果となり、2023年12月16日に、2部との入替戦が決まりました(※2023年11月28日現在)。入替戦では、熊谷ラグビー場にて専修大学(2部2位)と戦います。

創部史上初の大学選手権出場という目標は達成できませんでしたが、入替戦では、1部残留に向けて最善の準備をして挑みます。



1年生でリーグ戦全試合に出場中の岩重拓海



第1戦VS日本大学で大活躍!! SH9三原大河

埼玉パナソニックワイルドナイツと包括連携に関する協定を締結

2023年9月7日、熊谷スポーツ文化公園 熊谷ラグビー場Aグラウンド 記者会見室において、埼玉パナソニックワイルドナイツと本学は包括的な連携のもと相互に協力し、ラグビーフットボールを通じた人材育成と学術の振興に寄与することについて、協定を締結いたしました。

連携事項は以下のとおりです。

- (1)ラグビーフットボールの競技力向上と普及促進に関すること
- (2)選手および指導者の交流と学修機会に関すること
- (3)地域の児童・生徒の育成に関すること
- (4)施設の共用に関すること
- (5)集客力の向上と地域づくりの推進に関すること
- (6)その他目的達成のために連携協力することが必要と認められる事に関すること



埼玉パナソニックワイルドナイツと包括連携に関する協定を締結(左)埼玉パナソニックワイルドナイツ 代表 久保田 剛氏 (右)寺尾学長

戦績

関東大学リーグ戦1部 2勝5敗 7位

- 2勝** 日本大学(35対34)、拓殖大学(50対17)、
- 5敗** 東洋大学(21対40)、流通経済大学(34対59)、東海大学(12対69)、大東文化大学(32対36)、法政大学(12対69)

入替戦 2023年12月16日 VS 専修大学

※試合の結果は二次元コードよりご確認ください。



関東大学ジュニア選手権カテゴリー3

- 4敗** 中央大学Jr.(26対38)、東洋大学Jr.(27対42)、大東文化大学Jr.(38対57)、関東学院大学Jr.(33対40)

入替戦 2023年12月9日 VS 山梨学院大学Jr.

※試合の結果は二次元コードよりご確認ください。



注目選手

- SH9** 三原大河(社会福祉学部4年) リーグ戦第1戦VS日本大学にて2トライの大活躍で勝利に貢献
- FL6** 岩重拓海(データサイエンス学部1年) 関東大学リーグ戦全試合スタメン出場中
- SH9** 宮川晴登(データサイエンス学部1年) 関東大学リーグ戦VS流通経済大学に後半途中出場

ラグビー部女子

ラグビー部女子の目標は、日本を代表する選手に一步でも近づくこと、そして立正大学から、また熊谷の地から世界へ挑戦し続けることです

特別国民体育大会

2023年8月は国内地区ブロック予選大会、10月は特別国民体育大会(鹿児島県開催)が行われ、本学の学生も出身地や出身校の都道府県(宮城県、埼玉県、千葉県、群馬県、島根県、京都府)の代表として参加しました。京都府と埼玉県の代表は本大会へ出場し、さらに埼玉県代表は7年ぶりに優勝することができました。



立正大学から世界へ挑戦

2022年に開催された15人制ワールドカップに引き続き、2023年は世界の強豪国が参戦する国際大会「WXV」が新設されました。15人制日本代表チームには、本学より吉村乙華(社会福祉学部4年)、今釘小町(社会福祉学部4年)の2名と卒業生の3名が世界へ挑戦するチャンスを掴み様々な世界大会にて日本を代表する選手として活躍しています。2024年に開催予定の国際大会に向け、本学の学生が世界へ挑戦できる選手となるように努力してまいります。



地域との交流

ラグビー部女子は、ラグビーを通じて地域社会に貢献することを大切にしています。

熊谷市教育委員会、ARUKAS熊谷と協力し、市内の小学校29校、中学校17校を対象にタグラグビー※授業の講師や指導コーチとして「タグラグビー教室」に参加しています。また、立正幼稚園とも協力し、ラグビーを通じた授業にも参加させていただいています。授業の講師をしていく中で、子どもたちからたくさんのお話を聞かせてもらいました。笑顔あふれる子どもたちとのふれあいを通じて、ラグビーの普及に貢献できるよう活動していきます。

ご支援いただいているみなさんに感謝し、今後も地域との結びつきを強め、様々な活動を通じて地域の発展と共に歩んでいきます。引き続き応援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

※タグラグビー:ラグビーリーグを基にした年少者・初心者向け競技



実際のタグラグビーの様子

＼ 学生生活を充実させよう！ ＼

CIRCLE 2024

立正大学サークル情報

本学には100以上の
様々な課外活動団体が活動しています。
今回は、「裏千家茶道部」を紹介します。

CIRCLE INFO

裏千家茶道部

今もなお進化を続ける裏千家茶道。 茶道に触れて、人生を美しく豊かに。

茶道の主な流派は、裏千家、表千家、武者小路千家と呼ばれる3つが有名です。総称して「三千家」と呼ばれます。その中でも、裏千家の最大の特長は、歴史を重んじつつも代々の家元が時代に合わせた作法を積極的に取り入れていることです。

裏千家茶道部には現在15名が在籍しています。学生に指導をしてくださるのはこの道60年の金井宗英先生。立正大学とは23年の長いお付き合いで、先生に茶道を習い続けている卒業生もいます。部員は1、2年生が主体となって活動しており、未経験者も多く和気あいあいとした雰囲気です。始めたばかりの茶道を覚える傍ら様々なイベントの準備も大変ですが、先生をはじめ周りの方々に協力をいただきながら、皆で盛り上げていきます。

コロナ禍では思うように活動ができなかった茶道部ですが、2023年はコロナ前のイベントが戻りつつあります。特に留学生との交流会や大学祭、老人ホームでのお茶会は、普段のお稽古の成果を披露できる貴重な機会です。留学生との交流は前期と後期に1回ずつ行われます。前期の交流会に参加された留学生のなかには茶道の祖である千利休や日本の「わびさび」の知識が豊富な方もいて、茶道部のメンバーもよい刺激を受ける場と

なりました。

大学祭では、立礼^{りゅうれい}という椅子に座って行うお点前、熊谷市の星溪園という茶室では、座礼^{ざれい}という畳の上でのお点前、老人ホームでは盆路点前を披露します。それぞれに作法があるので、覚えることがとても大変ですが、先生の丁寧なご指導を受けつつ、お互い教え合いながら楽しく練習しています。

また、2024年のビッグイベントとして関東7県で行われる学校茶道の研修会があります。ここでは裏千家次期家元の若宗匠との対談の場と茶席が設けられます。より深い裏千家茶道の魅力に触れるとともに、新たな発見ができるかもしれません。今後の活動の追い風となるような機会になることを期待しています。

茶道に限らず、日本の「〇〇道」と聞くと堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、もちろん、作法や決まり事はありますが、根幹にある歴史や文化の奥ゆかしさを楽しむ心が何よりも大切です。また、茶道は日本の伝統文化に触れることができるとともに、美しい所作が身に付きます。「伝統文化を味わいながら、身に付けたものを将来の就職活動や普段の生活にも生かしてほしい」と金井先生が話してくださいました。



大学祭での立礼の様子



座礼お手前中のお道具

学生安否確認システム登録のお願い

本学では、自然災害や地震発生時に、在籍する学生の安全確保を目的とし、緊急連絡ならびに安否確認の手段としてセコムトラストシステムズが運営する「セコム安否確認サービス(e-革新)」を導入しています。

パソコンでの登録やその他詳細については、
『ポータルサイト>Myツール>キャビネット>3. 学生生活支援>
6. 安否確認システム内の各種資料』を参照してください。

企業コード:01013(半角)
ユーザーID:学籍番号(英字は大文字)
パスワード:生年月日の下4ケタ(月日) (例)4月1日 → 0401



お問い合わせ 品川学生生活課 03-3492-6698 / 熊谷学生生活課 048-536-6012

立正大学 by AERA

(制作・朝日新聞出版)を制作中

CONTENTS

巻頭インタビュー(仮) 徳重聡(俳優・タレント、卒業生)
特別インタビュー(仮) 大河ドラマを語る
卒業生探訪(仮) 八幡屋儀五郎代表取締役 室賀栄助、
パラアスリート 長谷川勇基 他

本ムックは書店で販売しておりません。
ご希望の方は、右記QRコードからお申し込みください。
完成後、お送りさせていただきます。



本紙へのご感想をお待ちしております!

立正大学学園新聞アンケート

立正大学学園新聞編集委員会では、読者のみなさんの声をもとに、よりよい紙面づくりをしていきたいと考えております。
今後の紙面づくりの参考にさせていただきますので、アンケートにご協力ください。



アンケート

学園新聞Web版・公式サイト・SNSはこちらから



学園新聞 Web版



立正大学マガジン

検索



公式サイト



立正大学

検索



公式facebook



公式X (旧Twitter)



モラリすX (旧Twitter)

セミナーやイベント情報、クラブ活動の様子などをSNSで配信中!
ぜひフォローしてチェックしてみてください。